



神奈川県遊技場協同組合 「東日本大震災等に伴う県内避難者への 支援に向けた『エアコン・掃除機』贈呈」事業



神奈川県遊技場協同組合 理事長
伊坂重憲さん

被災避難者のニーズを捉えて タイムリーな物品寄贈を行う

県内避難者にエアコンと掃除機を贈る

神奈川県遊技場協同組合(以下、神遊協)は、1985年(昭和60年)に県内のパチンコ・パチスロ業界の社会福祉・社会貢献部門として「神奈川県福祉事業協会」を設立し、今日まで加盟ホールからの浄財をもとに、県内の社会福祉施設・団体に対してさまざまな助成や支援活動を継続して行ってきた。これまでAJOSCの顕彰事業においても、都府県方面部門はもとより、傘下の支部やホール部門を含め、受賞の常連となっている。

昨年発生した東日本大震災に対しても、いち早く被災者への支援の検討を始めた。東日本大震災と、それに伴う東京電力福島第一原発事故によって、福島県などの被災地から神奈川県内に避難した被災者は、ほとんど着の身着のままの状態で来県し、県内の公営住宅などに分散入居した。当然、当面の生活に欠かせない食器・調理器具などをはじめとする生活用品の準備もなく、まずはそうしたものを取り揃える必要があった。そうした状況に対し、神遊協では避難者に救援の手を差し伸べ、避難生活を送るうえでの精神的な安心を目的に、エアコンと掃除機をセットにして寄贈した。その合計は385セット、金額にして約3000万円相当となった。

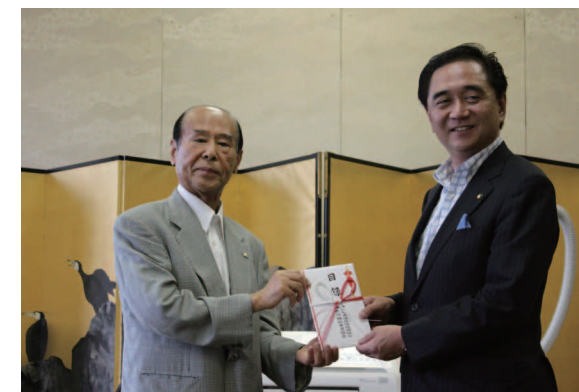
関係機関との協力でスムーズな寄贈を実施

まず支援物資の選定にあたって、神奈川県安全防災局災害対策支援担当部や共同募金会担当者の協力を得て、避難者が当面必要とする物品の実態把握に努めた結果、予想される猛暑対策と健康管理のためにエアコンと掃除機のセットを贈ることを決定した。

昨夏は大震災の影響により国内全域で冷房機器をはじめとする家電製品の品不足が問題となったため、家電メーカーや大規模小売店など(三菱重工空調システム、そごう・西武)の協力を得て、必要数の確保にあたった。また、エアコン設置に際しては、神奈川県県土整備局建



神奈川県庁で行われた贈呈式



黒岩県知事に目録を渡す神奈川県福祉事業協会の関根会長



県知事から送られた感謝状

築住宅部の協力を得ることができたため、避難者居宅への取付工事もスムーズにいった。さらに、避難者居宅への希望調査、物品送付、取付工事に伴う日程調整などに際し、個人情報の漏えいが懸念されたが、県安全防災局担当部局の協力により、情報秘の徹底が可能になった。

今回の寄贈に対し、黒岩祐治神奈川県知事から、「こうした時期により品物を選んでいただき、避難者のみなさんにも喜んでいただけたらと思う」との謝辞と感謝状が贈られた。その寄贈式の模様はテレビ神奈川ニュース、神奈川新聞などでも取り上げられ、県民にも広く周知されたが、なによりも多くの避難者から直接、神遊協にお礼の声が寄せられた。

東日本大震災被災地の復旧・復興は、必ずしもスムーズに展開しているわけではなく、また原発事故の影響で、愛するふるさとに帰ることがままならない人々がいまだに数多くいる。当初から神奈川県内に避難し、避難生活を余儀なくされている方々の滞在期間の長期化も懸念されるなかであって、今回の寄贈事業は極めてタイムリーであり、かつ有効な支援であったと神遊協では判断している。

未曾有の大規模災害と原発事故という複合災害に対して、パチンコ・パチスロ業界が貢献できるCSR活動の牽引役として、神遊協では、その後も、茶・菓子の寄贈のほか、東京湾のクルージング招待など、多方面にわたって支援活動を継続している。